

総合的な学習の時間

本校中学部では、「地域（庄原）の歴史や産業を知ろう」ということをベースに、年間を通して米作りにかかわる学習をしたり、「しょうばら九日市」についての調べ学習をとおして庄原の歴史に触れたりしています。



豊作を願って花田植えをしました



黄金色に実った稲を刈り取り、昔ながらのハゲ干しにします



足ふみ脱穀機を使って脱穀をしました



籾摺り・精米



すり鉢とボールを使った籾摺りも体験しました



新米でおむすび作り



冬には藁を使ってこもを編みます

しょうばら九日市

みんなで分担して「しょうばら九日市」の歴史や開催日、市の旗やマスコットなどについて調べ、実際の九日市を見学に行きました。

市には手作りのものなど目を引くものがたくさんありました。



九日市に習って、みんなで「中学市」を盛大に(?)開催しました。

「大地の恵みとして米を収穫し、後に残った藁をも活用し、最後は再び大地に返す」何をも無駄にしない、それが米作りの文化です。